

インタープリター・トレーニングのニーズ調査：課題と機会を探る

山田 菜緒子（金沢大学人間社会研究域）

キーワード：トレーニング、ニーズ調査、トレーニングの体系化、管理手法、目的

1. はじめに

インタープリテーションの質を高める方法として、トレーニングが最も効果あるものの一つと考えられている(Black & Weiler, 2005; Weiler & Ham, 2001)。日本では、過去約 30 年の間に、インタープリターのトレーニングが多様な団体において数多く実施されてきている。現代社会のニーズやインタープリテーションに期待される役割は変化しており、それに伴ってインタープリターに求められる能力や技術も変化する(Merriman & Brochu, 2006)。ニーズに対応するために、トレーニングにおいても習得できる技能を更新していかなくてはならない(Weiler & Walker, 2014)。

一方で、インタープリターに求められる技能や基準は学術知識や研究結果に基づいて定められるべきであり(Ward & Wilkinson, 2006)、トレーニング内容も影響力あるインタープリテーションに関する研究結果を根拠として決めなければならない(e.g., Ballantyne & Hughes, 2001; Weiler & Ham, 2002)。

したがって、本研究の目的は、現代のニーズに沿ったトレーニングを構成するためにトレーニングの現況を把握することとした。そのため、インタープリター及びトレーナーの観点からトレーニングに対するニーズを明らかにしようとした。

2. 研究方法

2011 年～12 年に、インタープリター及びトレーナーに対して、質的なインタビューを実施した。インタビュー参加者の選定にはスノーボールサンプリング法を用いた。まず実績のあるトレーナーを 3 人選び、それぞれから条件に合うトレーナー及びインタープリターを紹介してもらった。その結果、インタープリター及びトレーナーそれぞれ 12 人から回答を得た。回答の分析には、オープンコーディング法を用いて(Strauss & Corbin, 1998)、類似するもの、異なるものをテーマごとに分類した。

3. 研究結果

インタープリターに有益な知識や技術、望ましいトレーニング方法、インタープリター及びトレーナーが将来習得したい技能と、現在直面している問題が示された。また、トレーニングに関する課題と、インタープリテーション分野の課題についても明らかにされた。

4. 考察と提言

結果から、トレーニングの改善策が挙げられた。ニーズに対応するために、インタープリターに求められている知識、技術、トレーニング方法を今後のトレーニング構成に組み込むことが考えられる。これらはトレーニングを今後展開していく上での機会 (opportunities) と捉えることができる。

一方で、個々のトレーニング組織では対応が難しい点に対しては、インタープリテーション分野全体での取り組みが必要である。参加者の多様性、トレーニングの体系化、トレーニングの質の保証などが含まれる。これには、アメリカインタープリテーション協会や国立公園局の体系化、指標を参考にできる(National Association for Interpretation, 2009; National Park Service, n.d.)。

実演機会の不足、管理手法の視点の欠如などは、インタープリテーションを成功させていく際の課題 (challenges) となるであろう。分野の一層の発展には、インタープリテーションの目的の明確化、社会的役割の可視化が不可欠である。

参考文献

- 1) Ballantyne, R., & Hughes, K. (2001). Interpretation in ecotourism settings: Investigating tour guides' perceptions of their role, responsibilities and training needs. *The Journal of Tourism Studies*, 12(2), 2-9.
- 2) Black, R., & Weiler, B. (2005). Quality assurance and regulatory mechanisms in the tour guiding industry: a systematic review. *Journal of Tourism Studies*, 16(1), 24-37.
- 3) Merriman, T., & Brochu, L. (2006). *The history of heritage interpretation in the United States*. Fort Collins, CO: InterpPress.
- 4) National Association for Interpretation. (2009). Standards and practices for interpretive methods. Retrieved from <http://www.interpnet.com/docs/BP-Methods-Jan09.pdf>
- 5) National Park Service. (n.d.). Interpretive Development Program. Retrieved from <http://idp.eppley.org/home/>
- 6) Strauss, A., & Corbin, J. (1998). *Basics of qualitative research: Techniques and procedures for developing grounded theory* (2nd ed.). Thousand Oaks, CA: Sage Publications.
- 7) Ward, C. W., & Wilkinson, A. E. (2006). *Conducting meaningful interpretation: A field guide for success*. Fulcrum Publishing.
- 8) Weiler, B., & Ham, S. H. (2001). Tour Guides and Interpretation in Ecotourism. In D. Weaver (Ed.), *The Encyclopedia of Ecotourism* (pp. 549-563). Wallingford, UK: CABI Publishing.
- 9) Weiler, B., & Ham, S. H. (2002). Tour guide training: A model for sustainable capacity building in developing countries. *Journal of Sustainable Tourism*, 10(1), 52-69. doi:10.1080/09669580208667152
- 10) Weiler, B., & Walker, K. (2014). Enhancing the visitor experience: reconceptualising the tour guide's communicative role. *Journal of Hospitality & Tourism Research*, 21, 90-99.